

# 痛み学

## 入門講座

◆ 41 ◆



森本昌宏（もりもと・まさひろ） 大阪  
なんばクリニック本部長。平成元年、大阪  
医科大学大学院修了。同大講師などを経  
て、22年から近畿大学医学部麻酔科教授。  
31年4月から現職。医学博士。日本ペイン  
クリニック学会名誉会員。

経ブロックなどの治療を選  
択する。しかし、若年者で  
よく動き回られる方で、筋  
力低下（大断裂がある）が  
起こっている場合には、縫  
合手術（関節鏡を用いて）  
の適応となることもある。

③その他…その他で肩関  
節の周囲に痛みを生じるも  
のとしては、「腱板炎」、  
それに続いて起こる「肩峰  
下滑液包炎」の頻度も高  
い。腱板のなかに石灰（カ  
ルシウム）が沈着する「石  
灰沈着性腱板炎」では、灼  
けるような激痛を引き起こ  
す。上腕に力こぶを作る上  
腕二頭筋の「上腕二頭筋長  
頭腱鞘炎」では、肩関節  
に加えて上腕・前腕まで拡  
がる痛みを生じるので厄介  
だ。頸の骨に異常がある場  
合にも肩・上肢に、心臓や  
胆嚢の疾患でも肩に痛みを  
生じることがあるので注意  
が必要だ。

肩関節は、体中に存在す  
る多くの関節のなかで最大  
の可動域（動かせる範囲）  
を有している。しかし、一  
方で他の関節に比べると軟  
帯による補強が極めて弱  
く、その代わりに筋肉が補  
強の役割を担っている、と  
の特徴を持つ。したがっ  
て、加齢による変化や外  
傷、使いすぎなどによっ  
て、容易に関節周囲に痛み  
を生じるのだ。これらのう  
ちで原因が明らかでないも  
のは、前回紹介した「五十  
肩」として広く知られてい  
るが、その他にも関節周囲  
の異常による「腱板断裂」  
「インピンジメント症候  
群」なども多く発生してい  
る。これらは五十肩とは異

なり、明らかな器質的異常  
に起因する痛みである。  
①「腱板断裂」…ここで  
の腱板とは、上腕骨の上部

を前、上、後方から補強し  
ている腱（肩甲下筋、棘上  
筋などの筋肉の端にある）  
によって構成されている。

この腱板の加齢による変性  
に、外傷が加わると断裂が  
生じる。特に上方から上腕  
骨の後面に付いている腱の

とは、「衝突あるいは」ま  
候群」…インピンジメント  
とは、「衝突あるいは」ま

合手術（関節鏡を用いて）  
の適応となることもある。

## 肩関節周囲の痛み



イラスト 山川 昂

# 心臓疾患かも 放置は避けて

断裂が多い。この場合、腕  
を動かそうとした瞬間や夜  
間就寝（特に患側を下にし  
て）時に痛みが発生する。  
断裂した部位が硬くなる  
と、「コクツ」とした音が  
鳴る。

「この場合、腕  
を動かそうとした瞬間や夜  
間就寝（特に患側を下にし  
て）時に痛みが発生する。  
断裂した部位が硬くなる  
と、「コクツ」とした音が  
鳴る。」

たかが肩の痛みと安易に  
考えて、放置することは避  
けていただきたいものであ  
る。

ペインクリニックでは、  
MRIや超音波による診断  
を行った後に、鎮痛薬の処  
方に加えて、関節内へのヒ  
アルロン酸ナトリウムや局  
所麻酔薬の注入、肩甲上神

ペインクリニックでは、  
MRIや超音波による診断  
を行った後に、鎮痛薬の処  
方に加えて、関節内へのヒ  
アルロン酸ナトリウムや局  
所麻酔薬の注入、肩甲上神

ペインクリニックでは、  
MRIや超音波による診断  
を行った後に、鎮痛薬の処  
方に加えて、関節内へのヒ  
アルロン酸ナトリウムや局  
所麻酔薬の注入、肩甲上神

第1、3日曜日に  
掲載します。